

障がい者の社会への“完全参加と平等”を！

ときめきFukuoka

2025.5
No.281



令和7年度福岡市の障がい福祉関係予算と 新規・拡充事業の主な施策を紹介

- 05 福障協だより「促進事業を終えて」
- 07 身障協だより 保健福祉審議会中間報告「令和22年のあるべき姿を求めて」
- 10 令和7年度福岡市身体障害者福祉協会の主な大会・行事予定
- 11 5月・6月の企画展示情報～福岡市介護実習普及センターより～



新任ごあいさつ

福岡市福祉局障がい者部障がい企画課長 福留 裕一
福岡市福祉局障がい者部障がい在宅福祉課長 板本 忍

「④子どもの健やかな成長」の4つの基本目標を掲げ、

重度障がい者の増加や障がい者の高齢化が進む中、「親なき後」の地域での安心した生活を見据えた、地域生活の支援や社会参加への支援、差別解消の推進などに取り組んでおります。

令和7年度につきましては、障がいのある人が自らの能力を最大限に発揮し、「親なき後」にも住み慣れた地域や家庭で安心して生活できる社会をめざして、障がい者の工賃向上や強度行動障がい者を支援する人材の育成、グループホームの設置や運営に対する補助などを進めてまいります。また、障がい者スポーツセンターについては、老朽化への対応とあわせて、機能強化に向けた検討を進めます。

令和9年度に改定を迎える「福岡市保健福祉総合計画」については、

平素より福岡市の障がい福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

福岡市では、「みんながやさしい、みんなにやさしい『ユニバーサル都市・福岡』」の実現に向けて、障がいの有無にかかわらず、すべての人にとって、暮らしやすいまちづくりを進めております。

障がい福祉施策の推進にあたっては、令和3年8月に策定しました「福岡市保健福祉総合計画」の障がい者分野において、「①安心して地域で暮らせる基盤づくり」「②多様性を認め合い、大切に合うまちづくり」「③誰もがいきいきと暮らせる環境づくり」「④子どもの健やかな成長」の4つの基本目標を掲げ、

現行の計画期間（令和3～8年度）の後も効果的な保健・医療・福祉に関する施策を総合的、計画的に推進するため、次期計画の策定に向けた審議等を行ってまいります。

昨今、ウェルビーイングやダイバーシティ&インクルージョンなどの新しい価値観が重視されるようになり、「自分らしく生きる」ことへの関心が高まっています。

福岡市は、障がいのある人が、必要な支援を受けながら自らの能力を最大限に発揮し、地域や家庭でいきいきと生活できるまちづくりを目指し、障がい福祉施策を推進してまいりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和9年度に改定を迎える「福岡市保健福祉総合計画」については、

福岡市の令和7年度の一般会計の予算は、社会保障関係費の大幅な増加により、過去最大の1兆1,128億円となっています。

一方、市税収入においても、納税義務者数や給与収入の増加、企業収益の増加、地価の上昇等に伴い、過去最高を更新しています。市債残高の縮減など財政規律を保ちつつ、新たな基本計画に沿った施策を着実に推進する予算を編成し、「誰もが自分らしく生きられる共生・共創の地域づくり」、「次代を担う子どもの育成と若者の活躍推進」、「地域経済に活力を生む観光・MICEの推進と都心部機能の充実強化」、「スタートアップ等による新しい価値の創造」という4つの分野に力を入れてまいります。

福岡市の予算のうち、福祉局の一般会計の予算は、1,825億円で、障がい保健福祉費は、596億円と、前年度に比べ約65億円、12.2パーセントの増となっており、障がい福祉サービスの利用者の増加に加え、各種新規・拡充事業に対応した予算となっています。

令和7年度予算に計上した新規・拡充事業の主な施策は次のとおりです。

1 重度障がい者等への支援

障がいのある人が地域や家庭で安心していきいきと暮らせる社会を目指し、強度行動障がいのある人を支援する人材の育成を進めるとともに、重度障がい者の受入れ促進のための運営費等を補助するなどの支援を行います。

○強度行動障がい者への支援

●支援拠点施設「か〜む」での支援等

強度行動障がいのある人の安定した地域生活を促進するため、支援者向けの研修や「か〜む」で24時間、マンツーマンでの支援を実施します。

新規

●広域的支援人材の育成、派遣

事業所を支援するため、強度行動障がいのある人の支援に関するアセスメントや環境調整を図る人材を育成します。また、状態が悪化した強度行動障がいのある人の支援を行っている事業所に対し、専門人材を派遣する仕組みを構築します。

○重度障がい者の受入施設（生活介護・短期入所）の改修費用等を助成

医療的ケアなどが必要な重度障がい者の受け入れに必要な設備改修や備品購入にかかる費用を助成します。



○グループホームへの重度障がい者受け入れ支援

重度障がい者や強度行動障がいのある方を受け入れるための職員人件費の一部を助成します。

2 様々な働き方の支援

障がいがある人が、いきいきと活躍するために、様々な働き方の支援を行います。

○重度障がい者の活躍の支援

外出困難な重度障がい者等が、出勤することなく、自宅に居ながら、パソコン等を活用したテレワークにチャレンジします。

外出困難な重度障がい者等



自宅でパソコン操作



分身ロボットを活用し、
保育園で園児・保護者と
挨拶を交わしている様子

○障がい者の雇用促進

障がい者の企業への就労を促進するため、障がい者就労支援センターにおいて、障がい者やその家族への支援、企業への啓発・助言、就労移行支援事業所等への支援などを行います。

○障がい者施設で働く障がい者の工賃アップ支援

障がい者工賃向上支援センターが企業への業務開拓や障がい者施設へのマッチング、受注体制づくりなど、一体的な支援を行うことで、障がい者の工賃アップを支援します。

3 社会参加の推進

障がいがある人の社会参加のかかわる様々な活動を推進・支援します。

新規

○障がい者スポーツセンターの機能強化等検討

現在の社会的ニーズに対応した、障がい者スポーツ普及の拠点施設とするため、老朽化への対応策と合わせて、機能強化に向けた検討を進めます。



施設外観

その他、今年度も引き続き、各種障がい福祉サービス、地域生活支援事業等の充実に努めてまいります。

障がい者差別解消について「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮の提供」など条例の考え方等の周知をさらに行うため、啓発動画を公開しています。福岡市ホームページからご覧ください。

